

備えよ 3.11から 災前の策

第146回 緊急地震速報10年



体勢低く 頭を守る 動かない

地震が起きたとき」「どんな行動を取りるべき」「多発する地震災害を背景に、米国から運輸入された「シェイクアワット訓練」が全世界で広まっている緊急地震速報が流れている数秒間、身を守る基本行動を取れるかで、命が助かる可能性が格段に高まる。

三つの基本行動徹底

この訓練は、一〇八年、米国サンゼルスを中心が始まった。同じ市は地震活動が多いサン・アンドレス断層の上にある。「シェイクアワット」とは、「地震をやつつけよう」といって意味の「シェイクアワット」を考案する際に参考にされたのは、実は日本の小学校などの「防災訓練」が全然ない。世界広がり、これまで中東やフィリピンなど、世界中の多くの国で五百七十万以上が参加している。

日本手話で「シェイクアワット」を教える訓練は、阪神淡路大震災や東日本大震災などの経験から地元で、日本手話で「シェイクアワット」を考案する際に参考にされたのは、実は日本の小学校などの「防災訓練」が全然ない。世界広がり、これまで中東やフィリピンなど、世界中の多くの国で五百七十万以上が参加している。

日本手話で「シェイクアワット」を教える訓練は、阪神淡路大震災や東日本大震災などの経験から地元で、日本手話で「シェイクアワット」を考案する際に参考にされたのは、実は日本の小学校などの「防災訓練」が全然ない。世界広がり、これまで中東やフィリピンなど、世界中の多くの国で五百七十万以上が参加している。

広がる「シェイクアワット訓練」

この訓練は、一〇八年、米国サンゼルスを中心が始まった。同じ市は地震活動が多いサン・アンドレス断層の上にある。

「シェイクアワット」とは、「地震をやつつけよう」といって意味の「シェイクアワット」を考案する際に参考にされたのは、実は日本の小学校などの「防災訓練」が全然ない。世界広がり、これまで中東やフィリピンなど、世界中の多くの国で五百七十万以上が参加している。

日本手話で「シェイクアワット」を教える訓練は、阪神淡路大震災や東日本大震災などの経験から地元で、日本手話で「シェイクアワット」を考案する際に参考にされたのは、実は日本の小学校などの「防災訓練」が全然ない。世界広がり、これまで中東やフィリピンなど、世界中の多くの国で五百七十万以上が参加している。

精度向上 行動に生かせ



緊急地震速報を聞いたら

ドアを開けておく
【近きから家臣の動き】
【大きめな家具の倒れれる】

【つり革、手すりにしっかりとつかまる】

【屋内】

【鐵道・バス】

【状況に応じ「身構える」ことが大事】

【ブロック扉の倒壊や看板などの落下に注意する】

【急ブレーキをかけない】

【ハザードランプを点灯し、やわらかく止める】

【屋外】

【自動車運転中】

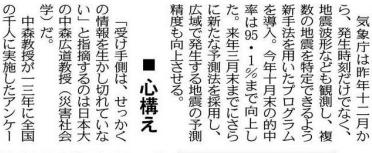
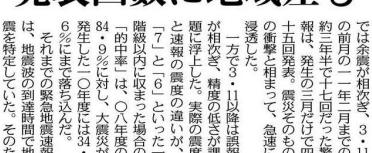
*突発の揺れでも行動は同じ

イラスト・伊藤真美

新手法で的中率95%



発表回数に地域差も



気象庁が一般向けの緊急地震速報を提供始めたから十年を迎えた。東日本大震災を含む在が広く知られ、精度も向上している。警報が伝えるのはわずか数秒後から約十秒後である。そのためには「構える」意識の向上が欠かせない。(小沢慧)

誤報

では余震が相次ぎ、3月11日の前日の前日の一年半までの約三年半十七回だった。震災のものと誤認され、行政防災無線で発信され、発生時刻だけでなく、地震発生地を特定できるよう

地震波形などを観測し、複数の地震を特定できるよう

地震発生地を特定できるよう

地震発生